

当社は、海上輸送のベストパートナーとして
お客様のニーズに全力で応え、
人にやさしい豊かな社会の実現に貢献します。

『当社の経営概況と事業展開』

2007年7月

川崎近海汽船株式会社

代表取締役会長 荒木武文

東京証券取引所 市場第二部上場

証券コード 9179

本日のご説明内容

- I. 当社の概要
- II. 当社の事業内容
-当社PRビデオ上映.....
- III. 当社の業績
- IV. 当社の事業展開
- V. 配当について

I . 当社の概要

会社概要

会社名	川崎近海汽船株式会社 KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA,LTD.
設立	1966年5月
本社所在地	東京都千代田区霞が関一丁目4番2号
資本金	23億6,865万円
従業員数	347名(グループ全体 2007年3月31日現在)
運航船	約50隻

Ⅱ. 当社の事業内容

経営方針と事業内容

近海部門、内航部門、フェリー部門の
三本柱を堅持

内航 フェリー
バランスある経営を展開し、
業務の拡大を目指す

近海部門

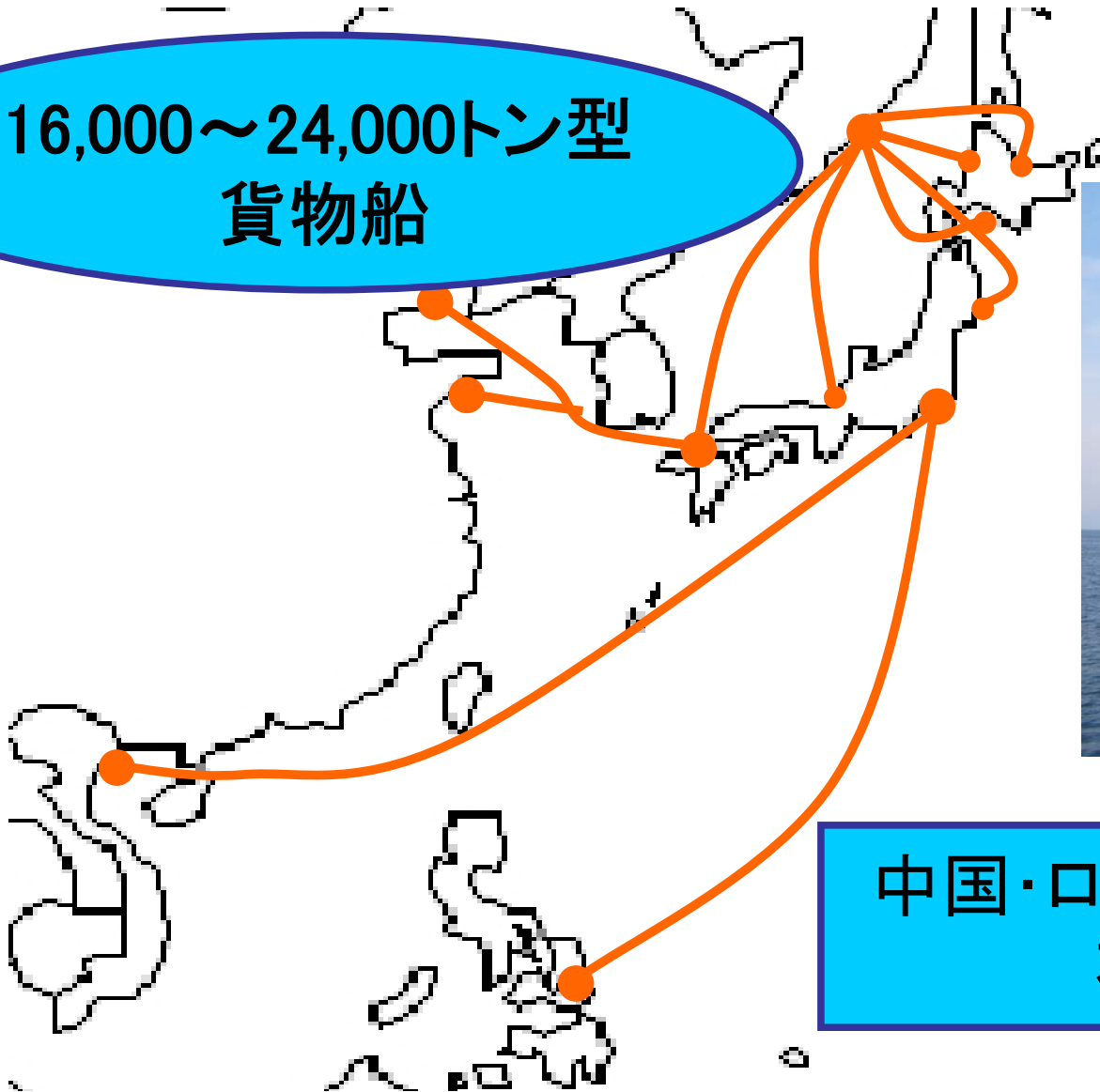
日本～東南アジア
10,000トン型貨物船



日本～東南アジアを結ぶ外航航路
鋼材・一般雑貨・木材製品などを輸送

近海部門

16,000～24,000トン型
貨物船



中国・ロシア・東南アジア～日本
石炭等原料輸送

近海部門

チップ専用船



東南アジア積チップ輸送

内航部門

釧路～日立
ほくれん丸
第二ほくれん丸



北海道産の飲用生乳輸送をメインに
釧路～日立をデイリーサービス

内航部門

東京～苫小牧
ほっかいどう丸
ひたち・ましう



東京～苫小牧を30時間・3隻体制

内航部門

紙専用船
南王丸 王公丸
神川丸



大型RORO船による紙輸送専用船

内航部門

常陸那珂～苫小牧
げんかい
まりも



一般雑貨シャーシをメインに首都圏、北関東と北海道経済圏を20時間で結ぶシャトルサービス

内航部門

日立～北九州
勇王丸・新北王丸



北関東と北九州をRORO船2隻で
ダイレクトに結ぶ新サービス

内航部門

石灰石専用船
美津川丸 千津川丸
須寿川丸



鉄鋼副原料用および
セメント原料用石灰石専用船

フェリー部門

八戸～苫小牧
シルバークイーン
フェリーはちのへ
べにりあ・べが



北海道の銀嶺をイメージする
「シルバークイーン」の愛称で親しまれ、
本州と北海道を最短ルートで結ぶ

取引先

近海

内航

フェリー

- 鉄鋼 (JFE)
- セメント
- 電力
- 製紙メーカー
- ホクレン
- 合板メーカー
- 商社
- 輸送会社
- 不特定多数

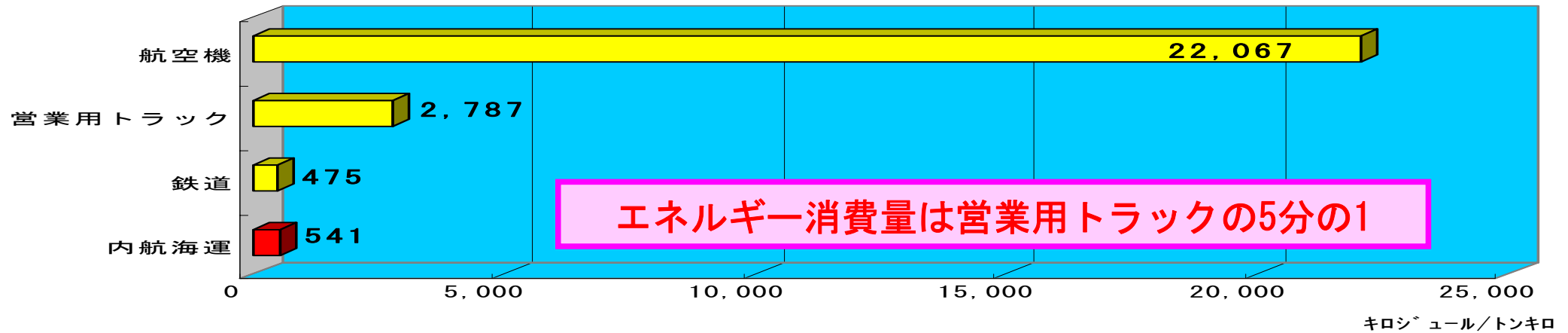
- 石灰石・鋼材
- 石炭
- 石炭
- チップ
- 木材製品・チップ
- 雑貨

- 石灰石
- 石灰石
- 石炭
- 紙製品
- 生乳
- 雑貨シャシ・商品車

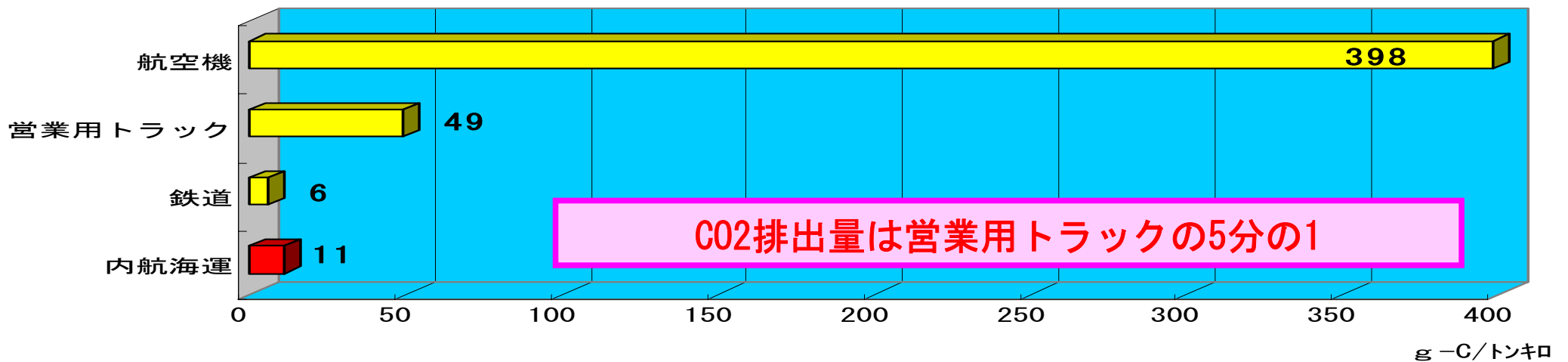
- トラック・宅配便
- 旅客・乗用車

環境にやさしい内航海運

1トンキロ輸送するのに必要なエネルギー



貨物輸送機関の二酸化炭素排出原単位

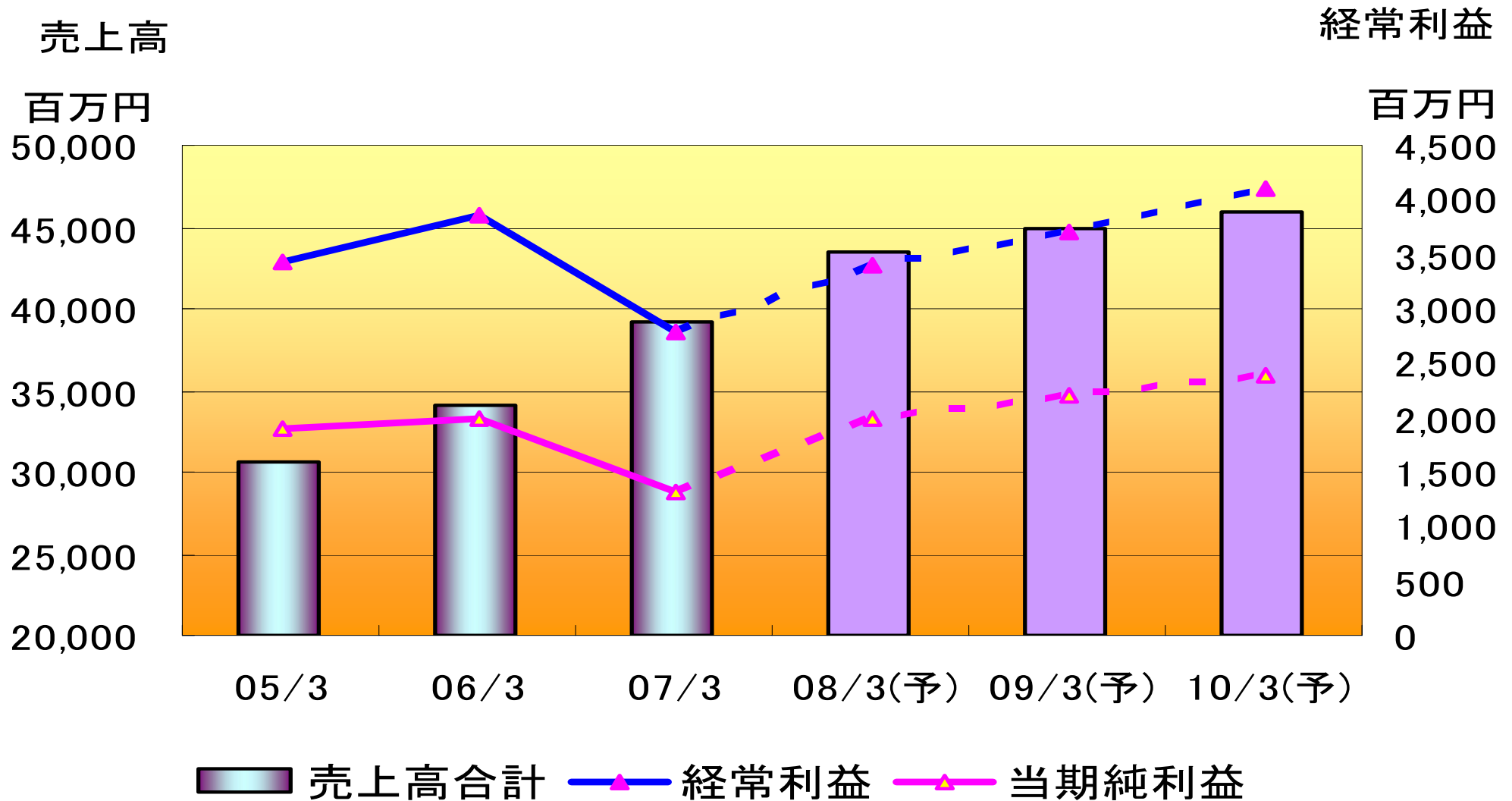


(注) 1トンの荷物を1km運ぶのに排出するCO2の比較

出典：日本内航海運組合総連合会 内航海運の活動

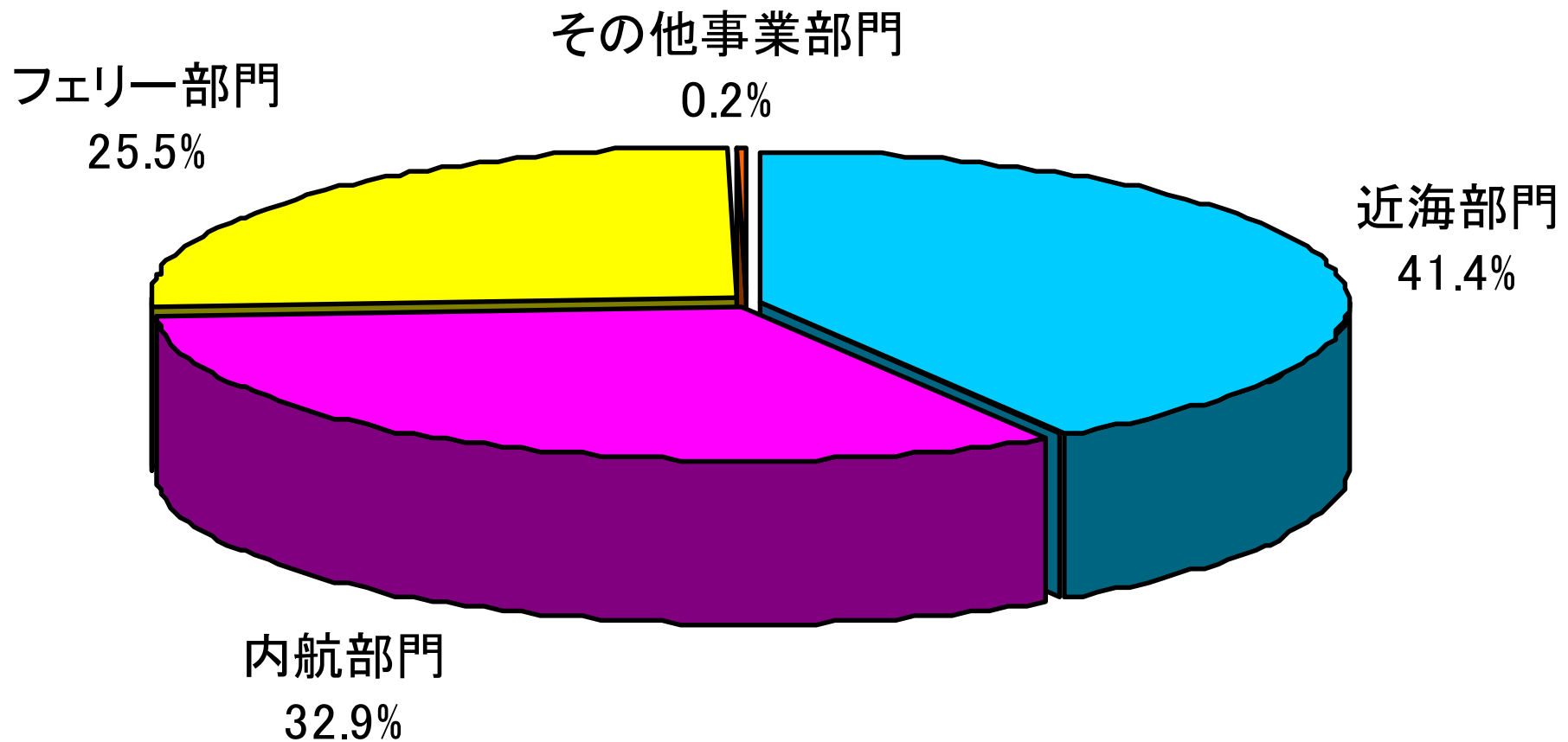
Ⅲ. 当社の業績

売上高・経常利益の推移



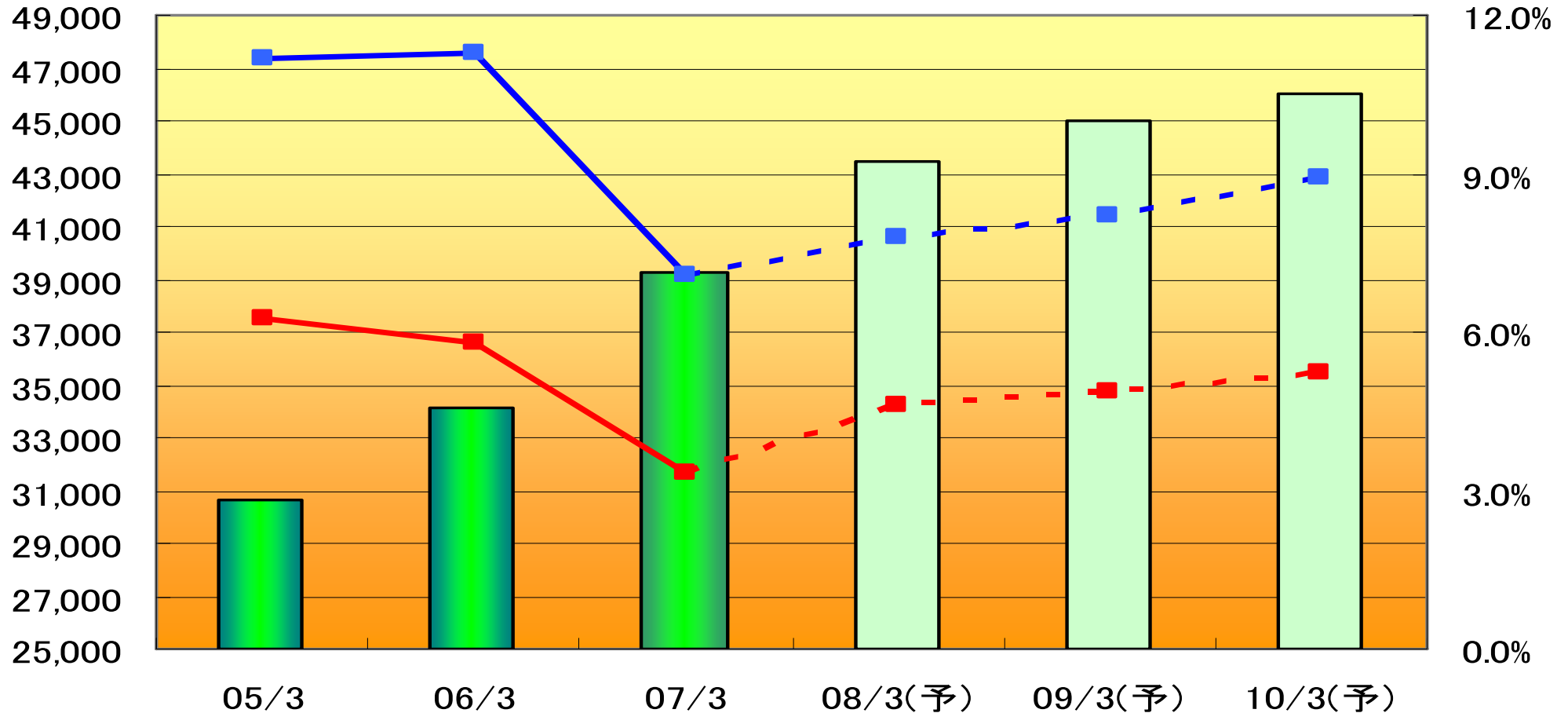
部門別売上高比率

2008年3月期見込み



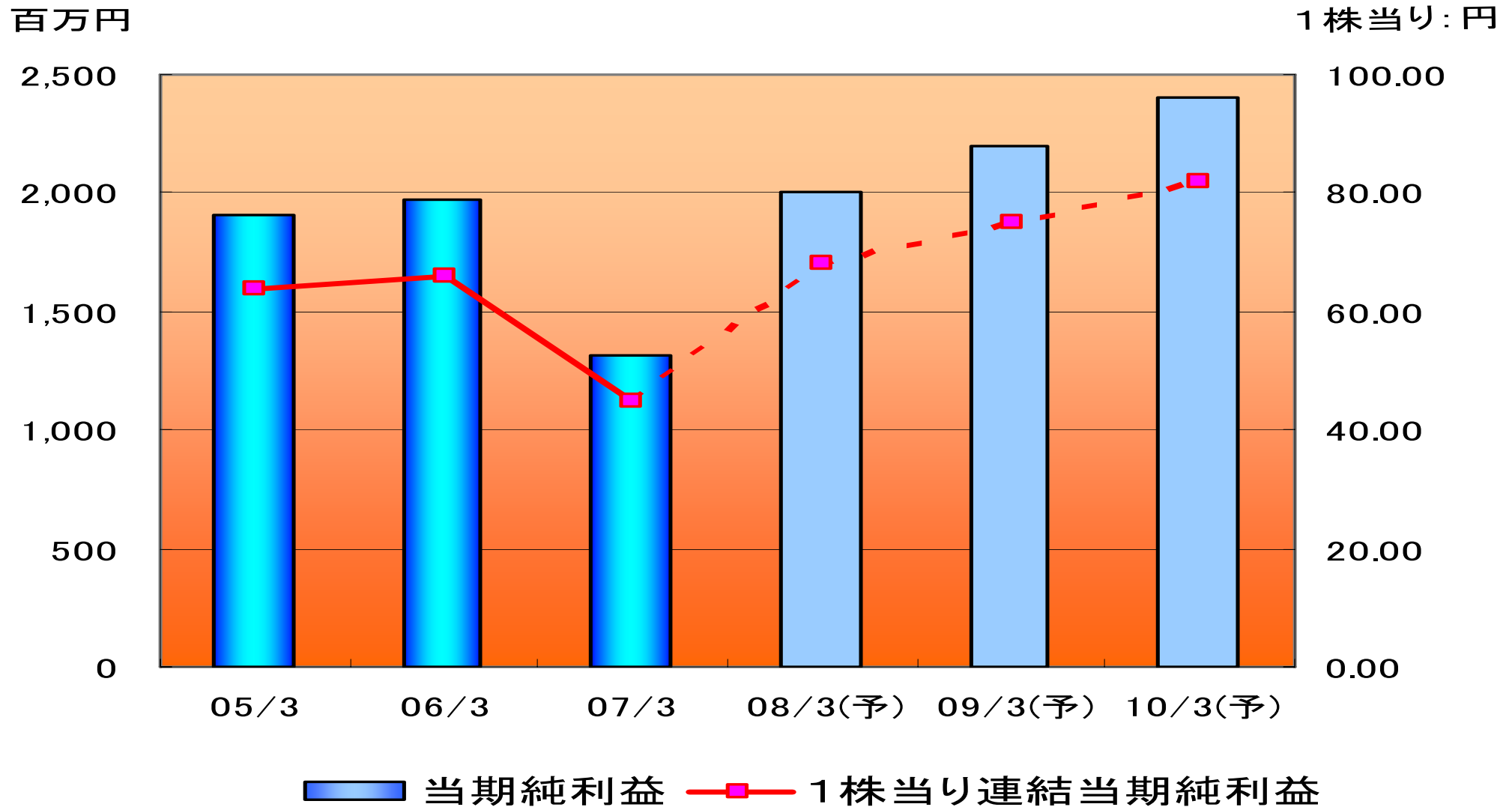
売上高経常利益率・売上高当期純利益率

百万円



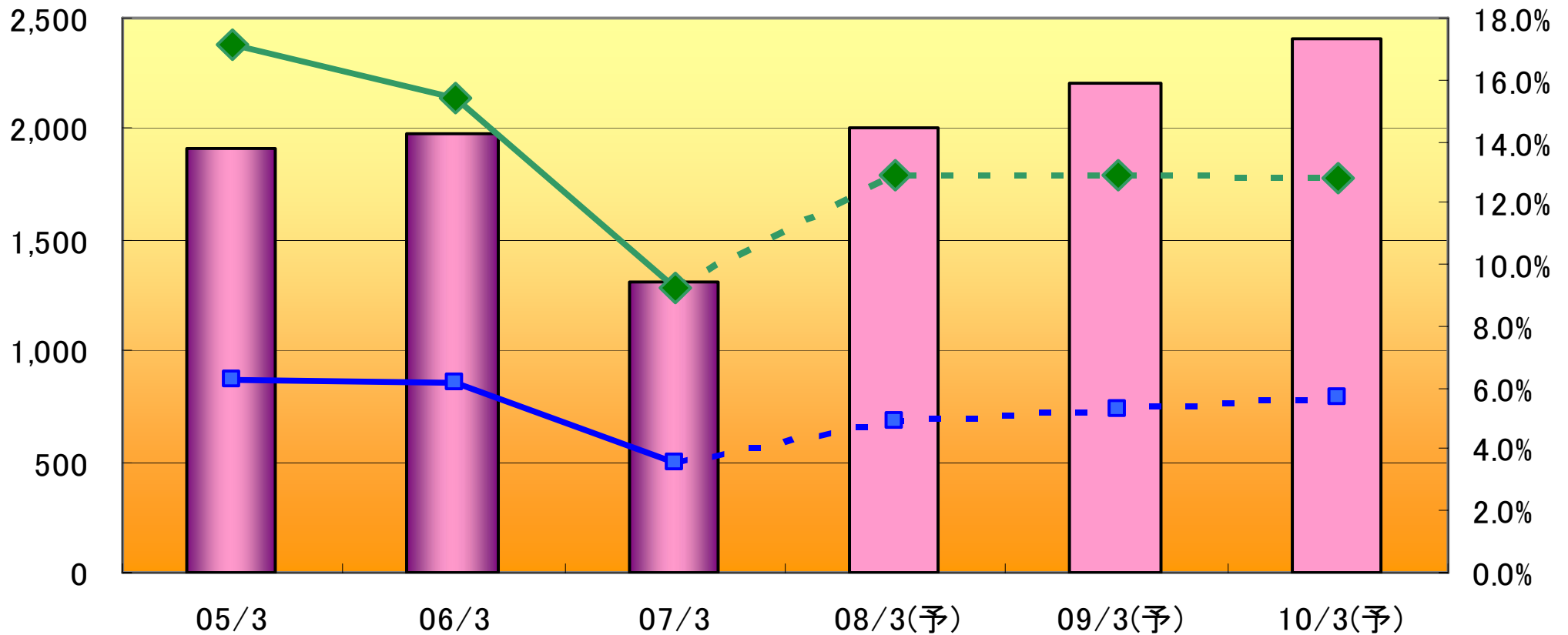
売上高合計
 売上高経常利益率
 売上高当期純利益率

1株当たり連結当期純利益



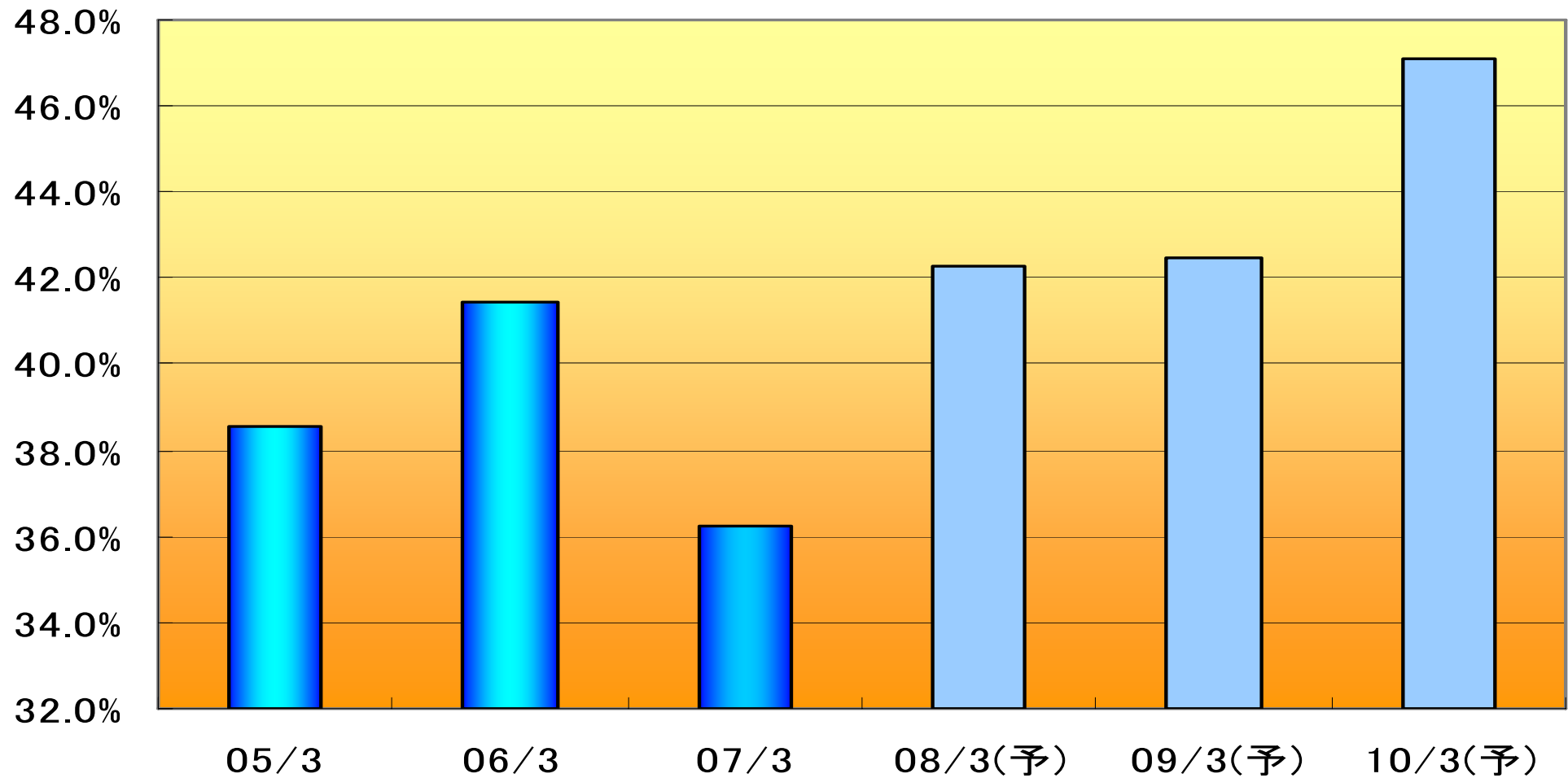
(連結) ROE ROA

百万円

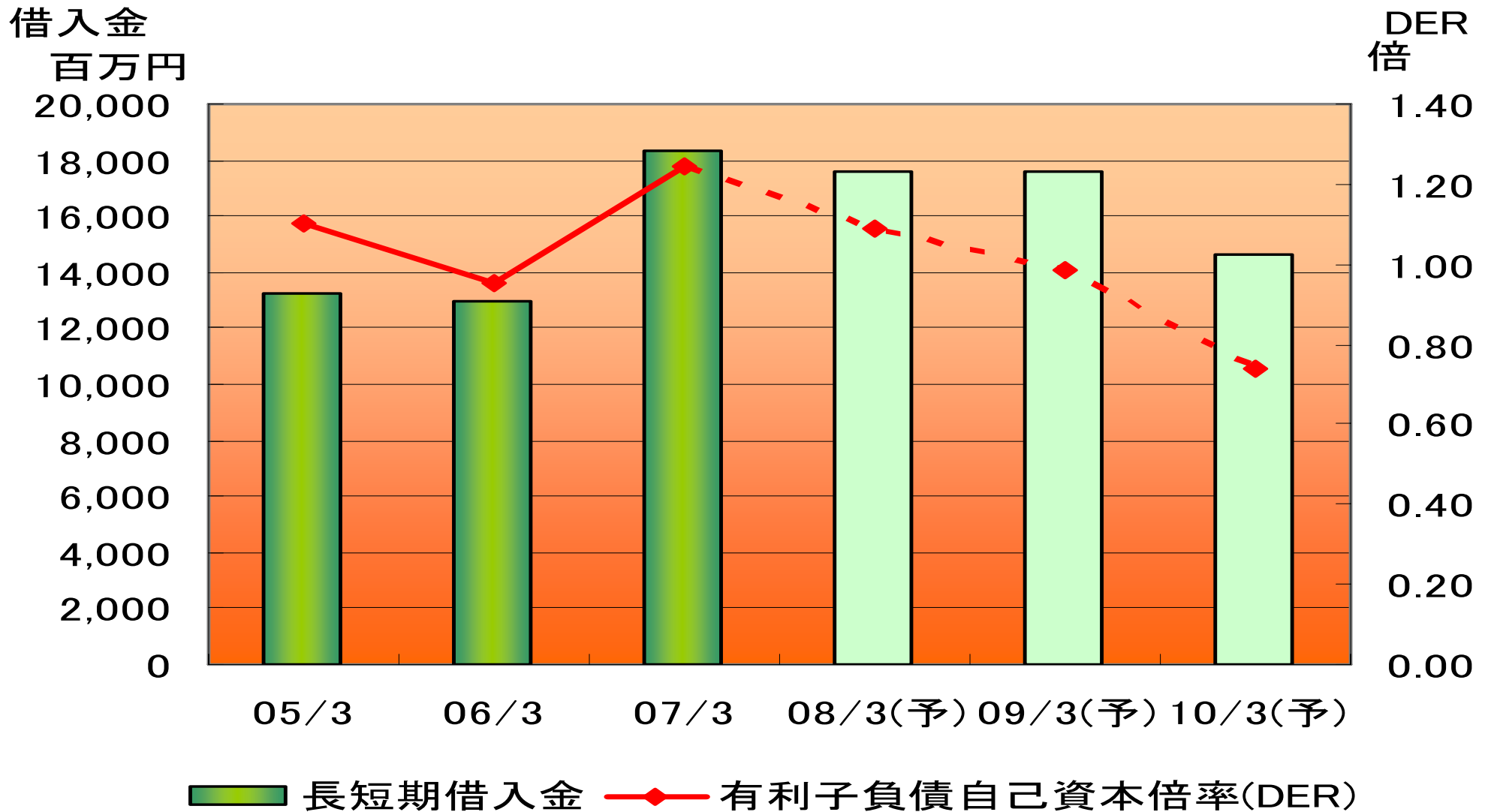


当期純利益
 株主資本利益率 (ROE)
 総資産利益率 (ROA)

(連結)株主資本比率



(連結)借入金とDERの推移

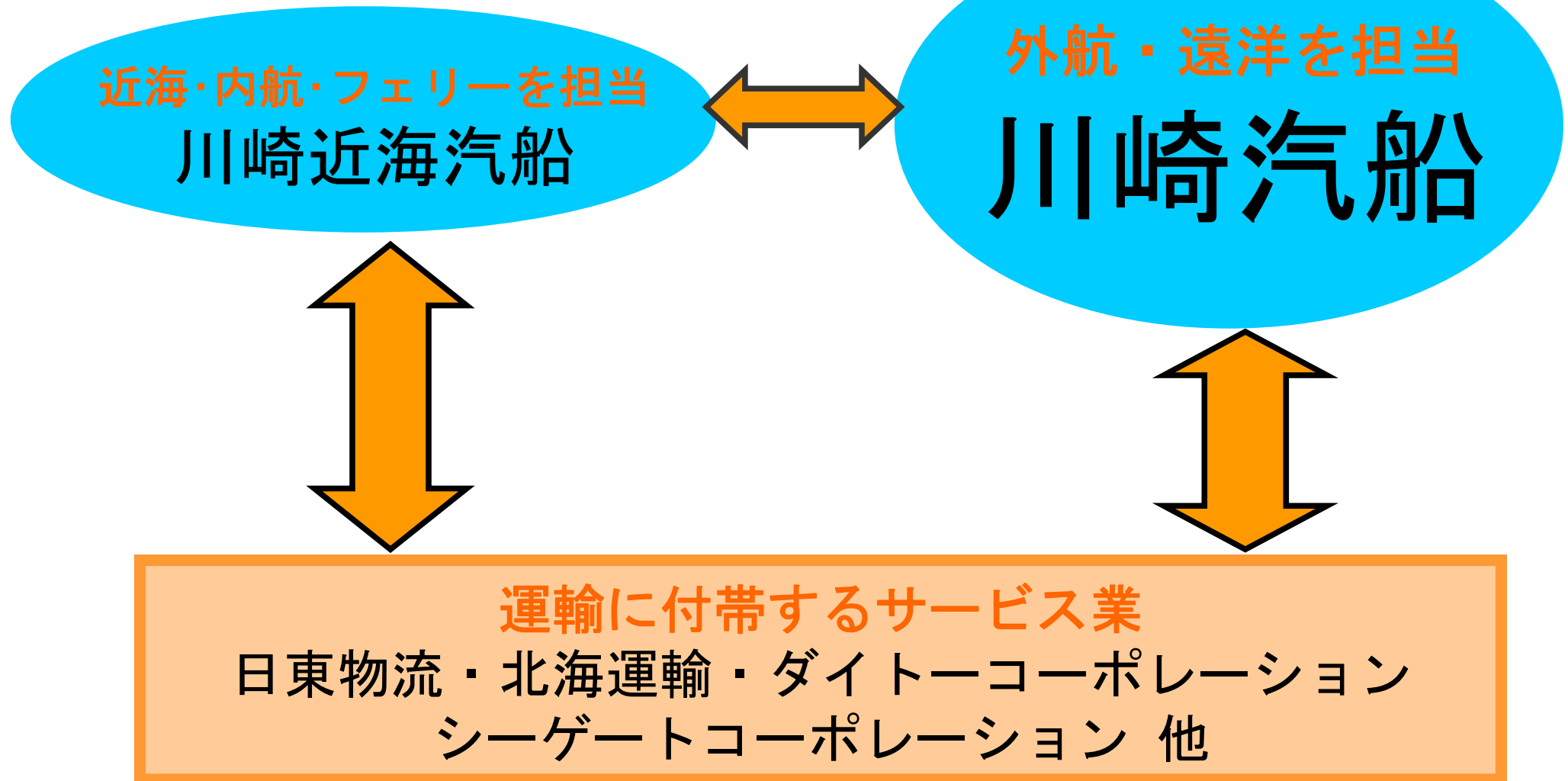


IV. 当社の事業展開

当社の強み

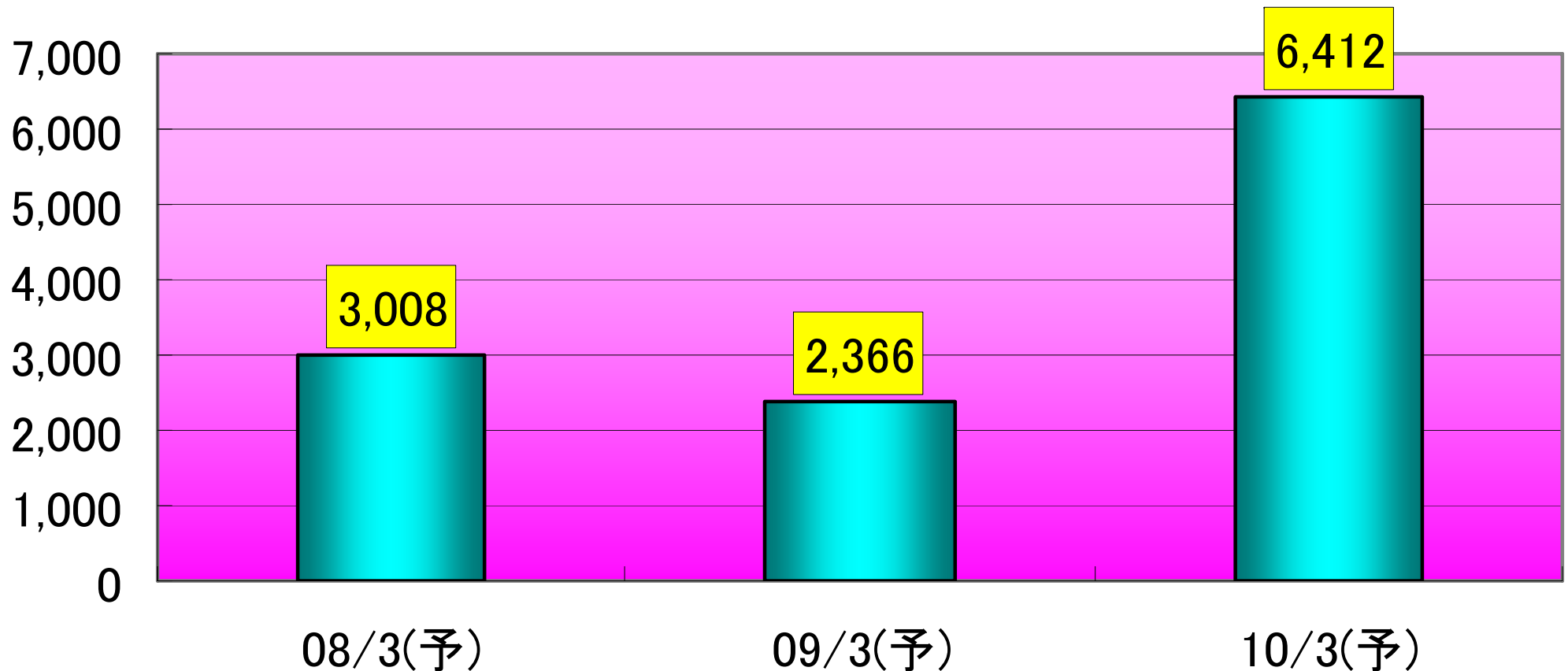
1. 三部門が補完しあう安定経営
2. 長期契約中心の
安定した営業基盤と持続的成長
3. 安定した財務基盤
4. 川崎汽船グループとしてのブランド

川崎汽船グループ



投資額の推移

支払ベース投資額 総額117億円



2010年度以降竣工の新造船建造資金が含まれております。

船隊整備の内容

期間中の竣工船

近海部門

不定期船貨物船 12,000型1隻 (社船)

同上 8,000型1隻 (傭船)

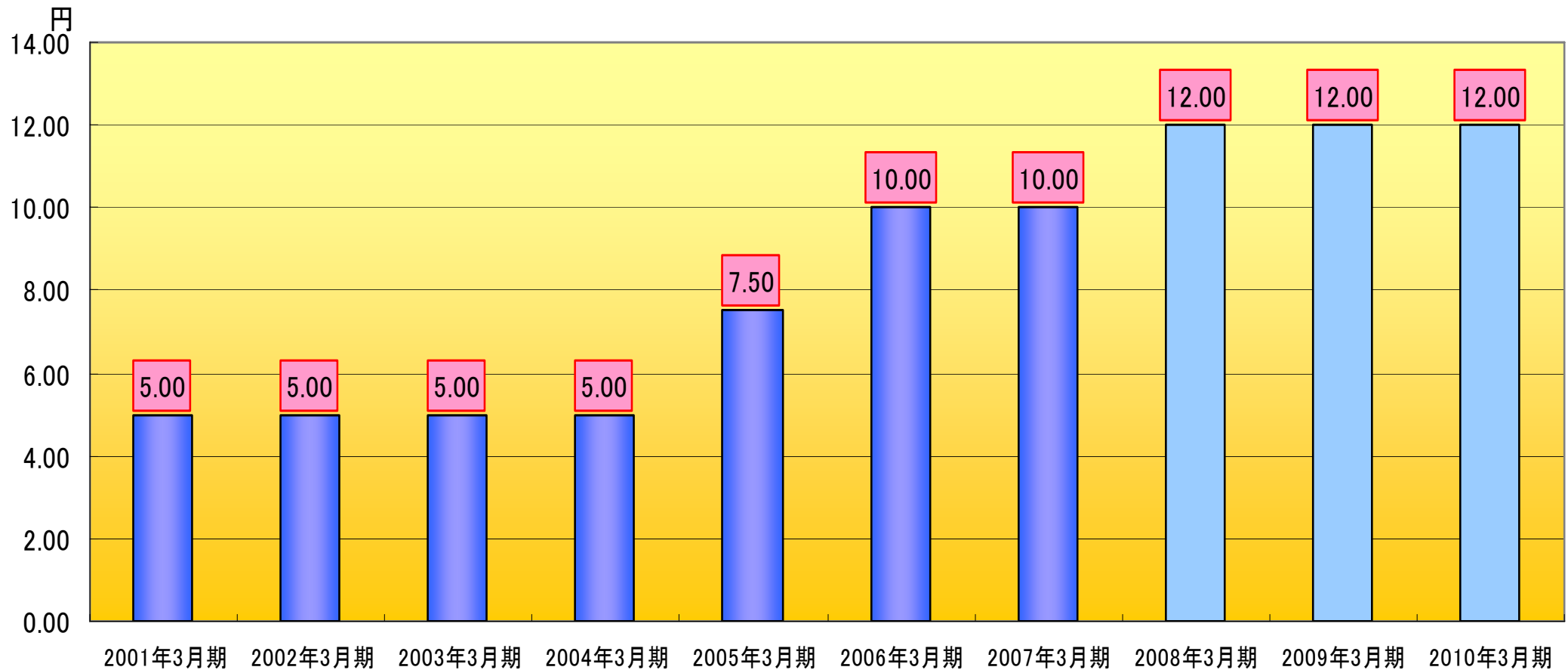
内航部門

石灰石専用船 6,000型1隻 (社船)

石炭専用船 6,600型2隻 (共有船)

V. 配当について

配当政策について



※2005年3月期は記念配当1円50銭を含む

2008年3月期以降は年間配当金を12円とする予定(2円増配)

株価・出来高の推移

